

きもののもようをかいてみよう



つちや よしのり
土屋 順紀 (1954年～)

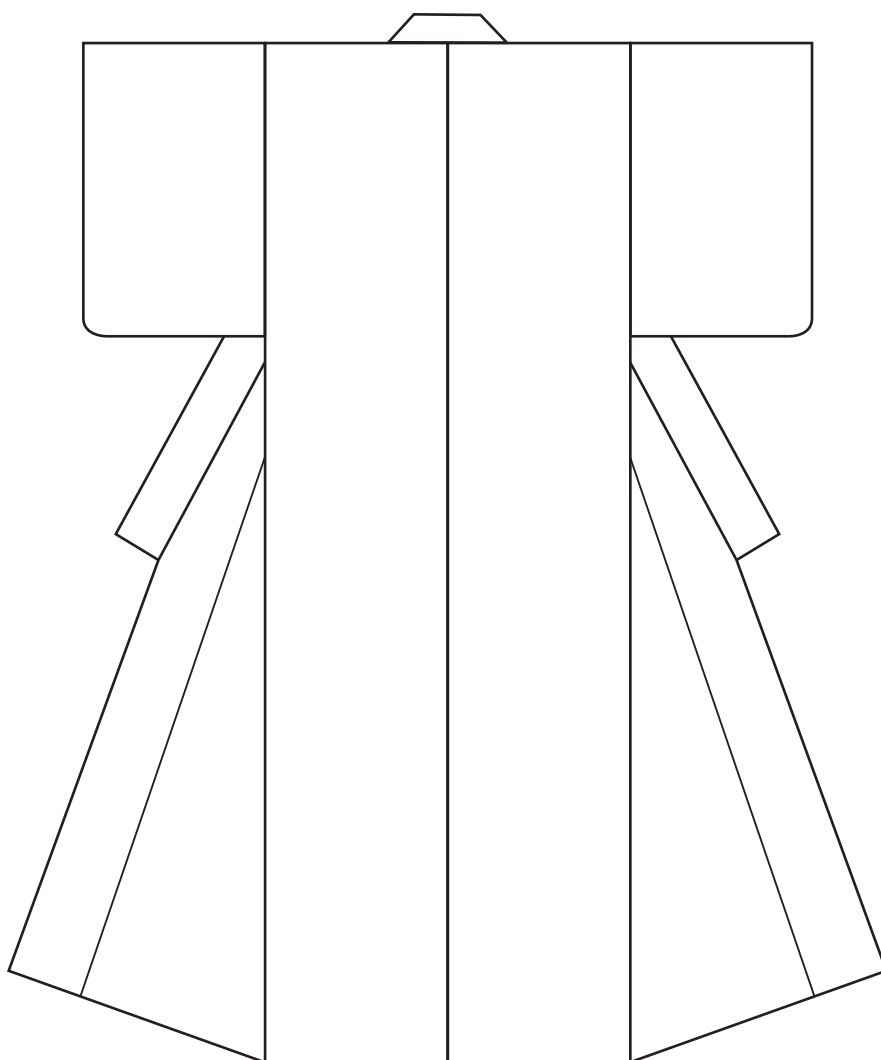
《紋紗着物「妙音」》 2010年制作

土屋順紀は、岐阜県関市出身の染織家です。

土屋の「紋紗」は、交差させた2本のたて糸に1本のよこ糸を通す「紗」と「平織」、さらに部分的に染めた糸を用いて文様を織りだす「もんしゃ 絁」を組み合わせ合わせた薄く軽い織物です。

この作品は、作者が森を歩いていた時に樹々の間から光が射し、晴れているのになぜか一瞬光る雨が降り注ぎ、周りが輝き、美しい音楽が聞こえたように感じたという経験をもとに制作したそうです。

このきものはどんなもよう？じゅうにもようをえがいてみよう！



なまえ

(さい)